

## 頼重沼津市長への現地報告会のお知らせ —愛鷹運動公園内ヒノキ人工林の整備事業について—

### 要 旨

社会貢献活動の一環として、10年間にわたって、約3300人日を投入し、10ha強のヒノキ人工林の整備活動が、当初の目標を達成できたので、経緯を含め総括し、頼重沼津市長に現地で見ながら報告いたします。

はじめに

2011年当時の栗原沼津市長のご了解を頂き、愛鷹運動公園内ヒノキ人工林の整備作業を開始いたしました。爾来10年の歳月をかけて、当初目標の「沼津市民が気楽に散策できる森林公園」が実現しました。

当時のヒノキ人工林は、ほとんど手入れもされず、まさに荒れた森林で、ヒサカキ等の灌木及びササ類等が繁茂し、見通しが悪く、散策路を歩くのも躊躇するほど危険な森でした。しかも、ヒノキの林床は下草もなく裸地同様の状況で土砂流出が懸念される状況でした。

ヒノキは樹齢60年を超えているのに、手入れが行き届かず、ツル等の被害で枯れ木や二股になった木が多く、また、生育が遅れた直径10cm前後の劣勢木も多く、大規模な間伐が必要な状況でした。

### 経 過

整備の第1段階は約2kmにわたる遊歩道周辺の枯れ木（危険木）の除去、森林入り口と周辺の整備を実施。

第2段階は林内の灌木類の除去、ヒノキに巻き付いたツルの除去等間伐作業に先立つ準備作業の実施。

第3段階は立ち枯れ木、虫こぶ付の木、成長遅れの木等劣勢木中心の除伐実施。

第4段階は林内7か所に設けたモニタリングポストの相対間距比調査に基づき間伐作業の実施

途中、H23年15号台風と翌年の強風により150本強の風倒木が発生しその処理に多大な工数を要しました。風倒木で出来た跡地を地拵えし、四季を通じて毎月花が楽しめる木を植樹し、「木の花咲くやゾーン」と命名し、森林公園の目玉となりました。各種助成金で苗木を購入し、沼津市民の参加や静銀沼津駅北支店の関係者による小さな親切運動と連携して、植樹を実施しました。

### 出来栄え（評価）

林野庁の委託を受けて、公益財団法人日本生態系協会の松浦事務局長による、当フィールドの現地視察があり、後日、次のような評価書が届きました。

①二酸化炭素吸収、土砂流出防止、水源涵養、生物多様性保全 をお金で換算すると 3,342千円/年

②市民の森林理解向上、市民の健康価値向上をお金で換算すると、1,145千円/年

自己評価としては、熱海市の姫の沢公園には及ばないが、自力で目標とした森林公園を実現できたと自負しています

まとめ  
愛鷹運動公園内ヒノキ林を沼津市の貴重な森林公園として位置づけていただき、継続した維持管理活動ができるよう、今後も沼津市のご支援を要望いたします。

当クラブも、今後沼津市と沼津市民をつなぎ、共助の理念のもと社会貢献活動を継続いたします。

添付資料 1 写真で見る愛鷹運動公園人工ヒノキ林の整備活動

添付資料 2 なぜ私たちは里山整備活動に取り組んでいるか（私たちの思い）

### 現地報告会について

日時

8月19日（水）15時30分～16時30分

集合場所

愛鷹広域公園北駐車場の北側広場（元工芸館の南側）

（集合後 ヒノキ人工林内散策路を歩きながら説明予定）

主催

NPO法人環境整備・森と竹で健康クラブ

（事務局 鴨下 連絡先 090-7025-9876）